

# 本宮小学校新校舎が完成



▲建物の北西面

市が昨年9月から進めてきた本宮小学校の建替え工事が完了しました。老朽化が著しかった本宮小学校は、一昨年の第二校舎の改修を皮切りに、第一校舎の解体跡地に校舎の建築を進めてきました。

新しい校舎は鉄筋コンクリート二階建てで、南棟には普通教室が配置され、廊下はオープンスペースを兼ね通常より幅が広く確保されています。北棟には普通教室と職員室、校長室、保健室などの管理部門とコンピュータ室、図書などを備えています。また障がい者対応のためのエレベーター、不審者対策のための録画機を備えた防犯カメラも配備されています。

今後は、第三校舎を解体し、その跡地を低学年用グラウンドに整備し本宮小学校改修工事がすべて完了します。



(左上) 北棟と南棟をつなぐ2階渡り廊下  
 (上右) 北昇降口  
 (下左) 明るく広い2階談話コーナー  
 (下右) 無垢材の床板を張った1階普通教室



▲廊下を兼ねるオープンスペース



▲新しい校舎での様子

新校舎での授業が開始された11月17日、全校集会の場で6年生の根本航大くんが新校舎完成にあたっての作文を発表しました。



新校舎を造ると聞いたのは、ぼくが4年生の時でした。それからずっと、新しい校舎で生活できることを楽しみにしていました。

新しい校舎に初めて入ったときは、みんな「ワー」と歓声を上げ、ピカピカの床や広い廊下、大きな窓がたくさんある階段に感激していました。

特にぼくが驚いたのは、本格的なスタジオがある放送室です。ぼくは情報委員なので、この放送室で放送できるのが今から楽しみです。

このようにすばらしい校舎ができたのは、市長さんをはじめ、いつもぼくたちを見守ってくださっている地域の方々や、暑い日も寒い日も工事をしてくださった皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

たくさんの方々のおかげでできた校舎を、いつまでも大切に使っていきたいと思います。

そして、これからも一生けん命に勉強や運動に取り組み、すばらしい本宮小学校にしていきたいと思っています。

## 本宮小学校新校舎の概要

- 事業概要  
鉄筋コンクリート二階建て  
延べ床面積3,733㎡
- 総工事費  
7億1,476万円

◆問い合わせ先  
教育総務課 教育施設係  
(☎内線244)

# 本宮駅利用の促進に関する提言

## 『中間報告書』が提出されました

### ▼駅利用促進とにぎわいづくり

11月6日、本宮駅利用促進検討委員会が開催され、伊藤宏之委員長より、『本宮駅利用の促進に関する提言「中間報告書」』が市長に提出されました。

今年5月18日に発足した当委員会は、本宮駅利用を促進する方策について様々な視点から検討がなされてきました。

「中間報告書」には、①住みよいまちづくりの課題の一つ、②地域住民の広域的交通起点として確立、③市民と行政の協働による駅利用促進、④短期的視点と長期的視点という駅利用促進の基本的な考え方のもと、様々な方策が盛り込まれています。

また、駅の利用者を増加させるためには、市民や企業、各種団体との協力とJRとの連



▲佐藤市長に「中間報告書」を手渡す伊藤委員長(左)

携による長期的な取組みの展開が必要であるとされています。

委員会では今後も検討を深め、本市が進める本宮駅の利用者増の実現に向けた施策の基本となる「提言書」をまとめ、平成22年1月に市へ提出する予定です。

この中間報告書を受け、市では具体的な対策の検討及び実施に向けた取組みを進めていきます。

### ■駅利用促進方策の提案項目

1. 短期的視点の方策
  - (1) 駅前集客イベントの開催
  - (2) 土日・祝祭日イベントの開催および誘致
  - (3) 観光事業の実施
  - (4) 駅利用者特典付与事業の実施
  - (5) 駅のイメージアップと話題づくり
  - (6) 大学の諸活動における市内実施の誘致と支援
2. 長期的視点の方策
  - (1) 駅東西の連絡と周辺環境の整備
  - (2) 駅舎改築と多角的利用
  - (3) 定住・人口増対策

### ■駅利用促進により期待する駅周辺地域の将来の姿

- 駅利用者や周辺住民による人の流れが絶えず、にぎわいが感じられるまち
- 鉄道を駅東西の垣根とせず駅周辺地域に一体感が感じられるまち

## シリーズ

### 「未来に輝くまちづくり」(17)



本宮市長 佐藤嘉重

平成19年1月1日に「本宮市」が誕生し、今月で丸3年が経過します。この間、合併の際に皆様にお約束した事業は、すべて計画的に進めることができました。また、本市の重要課題でありました工業団地造成費の債務約113億円の返済にも道筋がつき、「自主的財政健全化計画」を策定できましたことは、まちづくりの地盤を固める意味におきましても意義深く、ご協力いただいた市民の皆様、関係各位に深謝いたしますとともに、御礼申し上げます。

本年10月、2つの施設をオープンさせていただきました。一つは、「本宮市民元氣いきいき応援プラザ(愛称「えほか」)です。本宮診療所廃止による福島県の支援金を活用し、「健康増進・子育て支援・多世代

交流」の拠点として、市民の皆様が気軽に利用でき、笑顔の絶えない明るい施設を目指しています。10月1日のオープン以降、幅広い年齢層の方々に利用いただいております。子育てサロンでは、連日子どもたちの歓声が聞こえています。是非一度、皆様もご覧ください。

もう一つは、「白沢総合支所新庁舎」です。約半世紀にわたり白沢村の歴史とともに歩んできた白沢総合支所(旧白沢村役場)ですが、老朽化に伴い、白沢公民館に隣接する堤崎地内に移転新築しました。白沢地区における行政の拠点として、皆様に親しまれるシンボリックな施設となるよう願っています。

なお、旧白沢総合支所の跡地につきましては、皆様のご意見をお聞きしながら、地域の振興と活性化につながる利用方法を、多方面から検討したいと考えています。